



## 連携プレーが導く 心に響く太鼓演奏

秀岳館高等学校 和太鼓部伝承芸能雅太鼓顧問

前田 千秋 先生（本町） 堀江 千恵子 先生（建馬町）

平成 24 年に海外クルーズ客船の八代港への寄港が始まり、今年度は 10 隻が寄港を予定している。その乗船客や船員に好評なのが、出港セレモニーで迫力ある演奏をする秀岳館高等学校の雅太鼓だ。今年で創部 25 年を迎える。

その雅太鼓を創部当時から指導し続けているのが、顧問の堀江千恵子先生と前田千秋先生。休みなく太鼓と向き合う日々だ。

雅太鼓は、平成 3 年に中川静也校長の発案で創部。和太鼓初心者だった 2 人は、太鼓集団「TAO」から指南を受けた。「基礎練習からみっちり厳しく鍛えてもらいました。あの時は必死でしたね」と 2 人は笑いながら顔を見合わせる。他にも社会人の太鼓チームを訪ねては、練習方法や振り付けなどアドバイスをもらい、オリジナルの太鼓「雅太鼓」を作り上げてきた。創部当時 7 人だった部員は現在 34 人、年に数回だった公演は、海外を含め年 120 回を超えるほどに成長した。

雅太鼓の魅力は、一糸乱れぬ動きと生き生きとした表情、そして何より、部員たちが楽しそうに演奏する姿だ。「元気をもらった」「何か涙が出ました」と声をかけられる。2 人にとって、一番うれしい瞬間だ。生徒たちが 100%の力を出し切った証。

しかし、その 100%の力を引き出すことが一番難しいという。基本の曲は、その年その年で違う部員のカラーに合わせて編曲するため、曲の長さや振り付けなどを手直しする。そのカラーの見極めや曲の変更箇所・内容などは、2 人のそれぞれの得意分野を活かすことで完成していく。部員のコンディション調整は、部員のちょっとした

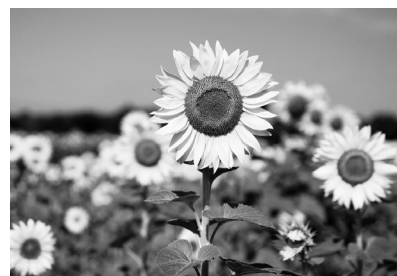
変化や行動、サインをキャッチし、その日のその部員に合ったさりげない声かけを行い、気持ちを盛り上げていく。一方が元気のない部員を見つければ、もう一方が部員に言葉のボールを投げる。2 人の絶妙なチームワークが 100%を引き出す鍵となっている。2 人は、お互いの立ち位置を「堀江先生はプロデューサー。演奏時の振り付けやパフォーマンス、技術的な部分のほとんどを指導され、また、細やかに頭の中で脚本を描かれます」、「前田先生は、舞台の流れやその場に必要の指導をされます」と語る。

秀岳館は三味線部や吹奏楽部などの文化部や運動部など、学校全体をあげて地域イベントに積極的に参加し貢献している。雅太鼓部員たちは 1 舞台 1 舞台に、校長の教育理念である「寄り添い支え合って」を基に、「常に感謝の気持ち」で演奏に臨む。

公演当日、舞台横に控える部員に「精いっぱい楽しんで」と送り出す堀江先生と、曲の合間に絶妙なトークで場を盛り上げ、演奏に心地よい場を作る前田先生。2 人は、舞台上で心から楽しむ部員の姿を見たいという想いを込め、それぞれの立ち位置から全力でエールを送る。



▲和太鼓部伝承芸能雅太鼓の皆さん(6/29クルーズ客船「ボイジャー・オブ・ザ・シーズ」の出港セレモニー)



2015.AUGUST

No.128

- 3 第48回 八代くま川祭り
- 4 やつしろ全国花火競技大会特別席チケット販売
- 5 市立図書館新サービス導入しています
- 6 全国小学生 ABC バドミントン大会
- 7 熱中症予防で元気な夏を
- 8 平成27年度 介護保険料決定
- 9 ご活用ください八代市人権啓発センター
- 10 ひとり親家庭への支援サービスや制度
- 12 風水害に備えましょう
- 13 平成27年度 八代市職員募集〈後期日程〉
- 14 暮らしの情報
- 16 市民カレンダー
- 18 暮らしの情報
- 27 広告
- 28 まちのわだい
- 31 伝言板
- 32 松浜軒/松井文庫の至宝

### 今月の表紙



6 月 18 日、千丁小学校 5 年生 58 人が、同小学校西側の田んぼで田植え体験を行いました。

子どもたちは苗を植える高さ

や植え方のコツを学んだ後、ぬかるみに苦労しながらも、楽しそうに 1 株 1 株丁寧に苗を植えていました。